

論壇

大規模暴動 SNS が発端

白人の警官がアフリカ系の男性を押さえつけて死亡させた映像が SNS（交流サイト）に流れ、トランプ大統領が SNS のツイッター上で刺激的な発言をしたこともあって、米国の各地で深刻な暴動が起こっている。こうした規模の暴動は 50 年ぶりであるそうで、この原稿の執筆時点でも多くの都市で夜間禁止令が出ている。

人種問題を原因とする米国社会の中の軋轢はずっとあった。時には暴動に発展することもあった。ただ、50 年ぶりの規模ということ

伊藤 元重 学習院大教授（国際経済学）

になると、米国の社会に何が起きているのか、改めて考える必要があるようだ。あるいは米国だけでなく、日本も含めて多くの国で見られる大きな潮流があるのかもしれない。

米国の共和党と民主党の二大政党だ。そこで国民に次のような質問をした調査がある。「もしあなたが、共和党と民主党の二大政党だ。そこで国民に次のような質問をした調査がある。「もしあ

米国で起きている「分断」

なたの子供が、あなたの支持している政党と違う政党を支持している人と結婚したら不快に感じますか」という質問である。1960 年時点では、共和党支持者も民主党支持者も、それぞれ約 5% が「不快に感じる」と答えたそうだった。つまり、子供の結婚相手がどちらの

が「不快に感じる」と答えるに違いない。こうした現象を「分断」と呼ぶ人もいる。平和的か暴力的かは別にして、現在米国で起きている暴動で抗議の声を上げているのは民主党支持者が多いはずだ。そこにはアフリカ系米国人だけでなく、

白人も多く含まれている。米国で深刻な分断が起きており、トランプ政権成立後、そうした動きはさらに顕著になっている。

人々が声上げやすい社会

では、なぜ分断がより顕著になっているのだろうか。その重要な要因として考えられるのが、情報技術の進展で人々が声を上げやすくなっており、また政治にそうした声が反映されやすくなっているという点だ。そもそも今回の暴動では、事件を伝えたのも SNS であつたし、物議を醸しているトランプ大統領のツイッター上での書き込みも SNS である。

人々の声が社会全体に簡単に広がるようになり、政治もそれを無視できなくなった。これは悪いことではない。そもそも政治の重要な役割の一つは、一般の国民の声を聞いて、それを政策に反映することであるからだ。しかし、SNS を通じての情報の広がりは、しばしば特定の思想を煽り、結果として社会の分断を引き起こすことになる。

共和党の熱心な支持者は同じような主張には熱心に耳を傾けても、民主党的な発言には耳を貸さない人が多いだろう。これは民主党の支持者でも同じことだ。政治家にとっては、社会全体の調和を目指して対立する意見の融和の道を探るよりは、自分の支持者の声を強調することの方が選挙に有利になるのだから。これで分断がさらに悪化すれば、社会は不安定化することになる。